

ITUAJより

お知らせ

ITUのことを知りたいと思ったとき、ITUの会合で困ったとき、必ず役に立つ本、「これでわかるITU」の2025年版を発行しました。専門分野のみならず、ITUの全般的な活動を知ることのできる手引書として制作しております。ITUの主要会合開催結果を踏まえ、内容をアップデートし、PAPER版・CD-ROM版をご用意しております。是非お手元に常備ください。

■目次

ITUの基本的構造・事務総局 (SGO)・無線通信部門 (ITU-R)・電気通信標準化部門 (ITU-T)・電気通信開発部門 (ITU-D)・APT・参考資料

■形態

PAPER: A4版 本文406ページ

CD-ROM: 1枚

■定価 (税込・送料別)

一般: 7,590円

賛助会員: 6,600円

詳細・お申し込みはこちらです。

https://ituaj.jp/?page_id=43664



編集委員より

子どもの受験で考えたこと



ソフトバンク株式会社

おおやま ますみ
大山 真澄

大学受験をめぐる環境の変化を子どもの受験を通して改めて強く感じています。私自身が大学を受験した四十数年前は、進学までの道筋はもって単純でした。可否は入学試験で決まり、推薦といえば学校推薦くらいで、それを使う人も多くなかったように記憶しています。ところが今は推薦の方式がいくつもあり、選抜の仕組みそのものがずいぶん広がりました。実際に子どもと検討すると一般選抜の方がむしろ狭き門なのではないかと感じました。

今の受験は、単に試験当日の学力だけで決まるものだけではなく、志望動機をどのように持ち、それに向けて高校時代にどのような活動に取り組んできたのか、そうした積み重ねも含めた総合力が問われることが多くなっているように見えます。また、一般選抜であっても、同じ大学・学科で回によって試験科目や配点が異なることがあり、大学側が1つの尺度だけではなく、様々な観点から学生を選ぼうとしている意図が感じられました。特に知識量だけでは測れない力を見ようとしている点に、以前との大きな違いを感じます。

知識の多寡よりも、AIなどをはじめとしたツールを活用して課題を見つけ、考え、答えを探していくかを重視するビジネスが求める人物像の変化に応じ、大学が学生に求めるものも変わってきているようです。世界が激しく動く今、そうした力がますます必要になっているのは確かです。若い世代の活躍に大いに期待したいと思います。

と、前回 (2024年7月号) でも試みたように、ここまで一度書きたいことを与えてChatGPTに書かせてみたのですが、安っぽいエッセイ風になってしまいました。いろいろ自分で修正してみましたが、かなり時間がかかった上にあまりテイストを変えられず、自分で最初から書いた方が速かったかもしれません。これはAIが悪いのか、私の発想や指示が悪いのか……。私のAI修行の道のりは遠いようです。

ITUジャーナル読者アンケート

アンケートはこちら https://www.ituaj.jp/?page_id=793

編集委員

- 委員長 亀山 渉 早稲田大学
- 委員 鈴木 勝裕 総務省 国際戦略局
- 西野 寿律 総務省 国際戦略局
 - 青野 海豊 総務省 総合通信基盤局
 - 山崎 浩史 国立研究開発法人情報通信研究機構
 - 井上 朋子 NTT株式会社
 - 中山 智美 KDDI株式会社
 - 大山 真澄 ソフトバンク株式会社
 - 薮 拓也 日本放送協会
 - 大津 伊作 通信電線線材協会
 - 笹田 航一 1FINITY株式会社
 - 上田健二郎 ソニーグループ株式会社
 - 神保 光子 日本電気株式会社
 - 中平 佳裕 沖電気工業株式会社
 - 阿藤 友紀 一般社団法人情報通信技術委員会
 - 三木 啓嗣 一般社団法人電波産業会
 - 山崎 信 一般社団法人日本ネットワークインフォメーションセンター
- 顧問 相田 仁 東京大学
- 新 博行 株式会社NTTドコモ
 - 田中 良明 早稲田大学

ITUジャーナル

Vol.56 No.6 2026年6月1日発行/毎月1回1日発行

発行人 吉田 博史

一般財団法人日本ITU協会

〒160-0022 東京都新宿区新宿1-17-11

BN御苑ビル5階

TEL.03-5357-7610(代) FAX.03-3356-8170

編集人 宮下英一、石田直子、加藤慶子

編集協力 岩城印刷株式会社

©著作権所有 一般財団法人日本ITU協会